



## 5月の予定

1 日	17 火	テスト対策期間
2 月	18 水	
3 憲法記念日 火	19 木	
4 みどりの日 水	20 金	
5 子どもの日 木	21 土	「自由通塾日」5:00～9:00 中3 理社科 7:00～9:00
6 金	22 日	
7 「自由通塾日」5:00～7:00 土 第1回早稲田学力試験週間 中3 午後6:50～9:30	23 月	カリキュラム調整週間 中2 「5月の単元まとめ」
8 日	24 火	小5・6 「5月のまとめ」 中1 「5月の単元まとめ」
9 月	25 水	中3 「5月の単元まとめ」
10 小学生 午後5:00～6:30 火 中1 午後6:50～9:10	26 木	
11 学力試験解答週 水	27 金	
12 学力試験「個人成績」返却 木 クラス分け発表は各授業時	28 土	「自由通塾日」5:00～9:00 中3 理社科 7:00～9:00 中3 第2回受験情報講座②
13 金	29 日	
14 土	30 月	
15 日	31 火	
16 中学生「中間テスト対策」 月 (～27日)	※今月は中学校での中間テストがあります。	

### 「やる気を出させるために？」

4月10日の日曜日に第1回の「父母会」を実施しました。多忙な中、また休みの日にもかかわらずわが子の事を思って、出席して下さった父母の方の心情に深く感じ入る次第です。

例年のように、第1回の父母会は新年度の全体的な会なので、通塾上の注意点や年間予定…など一般的なことがテーマとしていますが、もう一つのテーマとして、わが子の「やる気を出させるために、どうすればよいか？」ということをもっと深くお話しすればよかったと、反省しています。

勉強を「やる気になる」というのは非常に難しいテーマです。「学問に王道なし」といわれるように、やる気を引き出すのに「これをやれば絶対！」と言うものはありません。思いつくことを一つ一つ実行していくことしかありません。

例えばこの、先日の父母会に出席して、わが子のために少しでもプラスになることを身につけようとなさった姿勢は、子ども達のやる気につながるでしょう。会を終えて帰宅され、子どもと父母会でお伝えしたこと、また気になることを話し合われることで、「よし、これから頑張ろう」という気持ちが子ども達に出てくるかもしれません。ただ、この内容は真剣に聞いてはいても、時間が経つと忘れてしまうものです。私は父母会を行えば翌週の授業時に、親子で話した内容をたずねています。「何だったっけ?」「どんな話をしたっけ?」という返事が多く返ってきます。もちろん詳しく話してくれる生徒もいるのですが、やはり日を経ると、よほど印象強いものでない限り記憶に残っていないものです。

子ども達の「勉強へのやる気」というものは、一時的なものです。今「やる気」になっていても、しばらくすると薄れてきます。まるで紙風船と同じようなものです。空高く打ち上げても必ず地面に落ちてきます。だから、「やる気を引き起こす」ためには、何回も何回も紙風船を空高く打ち上げてやらなければなりません。親は子どもが「やる気になった」からといって安心してはダメで、何回も何回もやる気を引き出すアプローチを心がけて、実行しなければならないと思います。今回の父母会はそのアプローチの一つでした。今回出席された方は、ぜひこの絶好の機会を活かしてください。またやむを得ず欠席された方は、以下のことを子どもと話し合ってください。

- ・授業では集中しているかどうか  
(説明時にしっかり聞いているかどうか)
- ・日頃から字をていねいに書くこと  
(小さな字や薄い字はダメ)

最後に親として、子どもにどんな期待や夢をもっているのかも話してあげてください。

## 塾報告

### 「第1回 早稲田学力試験」日程

- 中学三年生 7日(土) 数学・国語・英語  
午後6時50分～9時30分
  - 中学二年生 9日(月) 数学・国語・英語  
午後6時50分～9時20分  
中3は休講です
  - 中学一年生 10日(火) 数学・国語・英語  
午後6時50分～9時10分
  - 小学生 10日(火) 算数・国語  
午後5時～6時30分
- ▼試験範囲は各教科の授業で発表します。  
▼都合で受験できない生徒は連絡をください。時間の許すかぎり振り替えて実施します。  
▼中学生は試験結果でクラス分けをします。クラス発表は、個人成績の返却と同様に普段の授業時間に行います。  
▼個人成績の返却は12日以降に行います  
▼試験後の最初の授業に解答をし、中学生は解答の後に『まちがいノート』を作成し提出します。

## 中間テストをひかえて

- ・テストへの学習計画を自分なりに立てよう。  
「出題範囲表」を参考に、学習日程の計画を立てよう。  
(試験日までの日程で具体的に立てることが大切)
- ・登校前の朝にもテスト勉強をしよう。(20分程度は)
- ・風呂上がりの20分を暗記科目の時間にあてる。

### ◎勉強方法は

- ①父母会での説明を参考にした勉強法で、試験勉強はテスト日の10日以上前から取りかかろう。
- ②教科書を使ってテスト範囲を精読・音読をする。
- ③教科書は何回もアンダーラインを引きながら読む。  
(とくに「理科・社会」はノートまとめをしないこと)
- ④テストの一週間前からは問題演習をする。
- ⑤塾でのテスト対策プリントを使って復習をし、未消化の単元をなくしておく。
- ⑥テスト前でも塾を休まないこと。

### ●各中学の中間テスト期間

- ・中央中… 5月23/24日
- ・西中… 5月25/26日
- ・入間川中… 5月28/30日
- ・柏原中… 5月

### ●初めて中学生を持つ父母の方へ

現在の「通知表」は、中間・期末テストの成績だけで評価がつくわけではありません。宿題や作品の提出、色々な活動への積極的な参加、授業への活発な参加などが「観点」となり、これにテストなどを加味して評定が決められています。宿題を忘れてたり、提出期限を守らなかったりして、不用意に評価を下げないように注意してください。(提出日は絶対厳守です。)だからといって、テストを軽視するのではなく、きちんとした学力をつけるために努力するという気持ちで、子どもたちにお伝えください。

## 【今月の野】桜が終わると (記 玉美)

野遊び好きの仲間と、筍掘りに行ってきました。頑として鍬を受け付けようとしないう根っこと悪戦苦闘して、ようやく、ザクッと転がったときの気分。竹林を吹き渡る風の爽やかさ。もちろん、食べる喜び。筍掘りの楽しさは、まさに、「この時期限定」の楽しさです。写真は、3人で1時間頑張った成果。結構掘れるものですね。



この日、竹林の人に聞いた話によると、筍は、桜が終わると出てくるのだそうです。そうなのか、「桜が終わると」、なのだな。桜が終わると、一面の木々がすっかり多様な緑に覆われているのに気付きますし、桜の前まで、あんなに元気だった早春の野の花達の影も薄くなり、桜が終わった野はいつの間にか春の花に取って代わられています。桜は、やはり、最強の春の使者なのでしょうね。

## クラスだより

(記 満理)

いい季節になりましたね。わたしはこの時季が一番好きです。芽吹き、せりつみ、つくし採り、お花見、たけのこほり、潮干狩り…楽しいこともおいしい食べ物もいっぱいです。ちょうど今は、つつじがきれいに咲く時期でしょうか。

少し前まで、菜の花の色が分からないという生徒がだいぶいたように思いますが(やはり特に男の子なのですが…)ここ最近、たずねるとすんなり答えるようになったように感じます。

小学生は、数年前の教科書改訂をうけて、四季がもりこまれるようになりました。例えば、五年生では『枕草子』四季の各段。六年生では「春眠暁を覚えず～」で始まる『春暁』。中学生になっても大事な作品、そして古典への親しみ、季節の感覚を身につけられこの単元を、毎年いいなあと思いつつ勉強しています。

中学生は今年の教科書改訂により、いくつかの変化が見られますが、かわらずとも美しい、ぱらぱらとめくるだけでわくわくする教科書です。写真がふんだんにもりこまれ、詩や短歌を交えながら季節の紹介もされています。

わずかなすがすがしい季節を めいっぱい吸いこんで楽しく過ごしてほしいと思います。

## 書だより

(記 雅也)

新年度を迎え、気持ちを新たに勉強を頑張ろうと考えている人も多いのではないのでしょうか。この時期、塾で余っているテキストを生徒にあげていますが、そのとき必ずといっていいほど、理科や社会が欲しいと言われます。ただ、元々が国数英に比べて冊数が少ない上、人気も高いため、なかなかあげられないのが実際です。そうすると、テキストがないと、どう勉強すればいいのか分からないとか言ったり、ノートまとめをってしまったたりする生徒もいます。そんな生徒に「それは違うよ。ノートまとめは覚えることもできず、時間のムダ。知識を整理するなら教科書を読んだり学校でとったノートを読めばいい。テキストがなくても、学校で課題になるワークを活用することもできる。」と伝えても、なかなか理解できないようです。



そこでおすすめ、といってもそんなたいそうなことではありませんが、歴史はマンガを読みましょう。歴史の内容が、単なる言葉から画像イメージになるのでつかみやすく、記憶にも残りやすくなります。でも何種類もあるから、どれを選べばいいか分からないとなったら、定番小学館の『少年少女日本の歴史』。他と比べると、新しくはないながらも一番まとまっていて、内容もぎっしり。少しばかり前に話題になった、『ビリギャル』でも「これ!」と紹介され、大学入試まで対応できるものです。少々古いのですが塾にも置いているので、自由通塾などで読んでみるのもいいと思います。

## 塾長の独り言

### ◎父母会後

新年度の父母会では、塾からお願いすることが数件ある。その中に、各学校の年間予定表と中学生では今年の卒業生の進路先を知らせたプリントを、塾にお知らせくださいというものがある。年間予定表は、学校行事に合わせて塾のカリキュラム調整や学力試験、各考査の対策授業の参考にするためである。

また、進路先のプリントは、これを参考に各中学校の進路指導の方針を知り、次の受験生に適した進学校を明示するためである。

そして、非常にありがたいことに父母会後すぐにこれらのプリントを塾に提供して下さるご家庭が多い。

ただ残念ながら、現時点では西中の進路発表がない。ここ数年のように発表しないつもりなのだろうか。在校生が卒業生の進路を知ることは、自分が将来どのような進路先を取ればよいのかという指針になるのだが…。このまま発表がなければ非常に残念なことである。

### ◎卒塾生の活躍を知る

4月16日、朝日新聞朝刊の2面「ひと」の欄に卒塾生の黒坂愛衣さんの記事が載っていた。23年前の面影を残した写真がそこにあった。立派なものだと感心するが、彼女が中学生の頃を思



いと「教師になりたい!」という思いが強かった。その夢を追い求めての進学であった。高校生になり、大学生になった彼女に街角で見かけ声をかけあうこともあった。そのたびに頑張っている姿が伝わってきたものだった。そんな彼女の人生の一端に係わることができたことに感無量。

そして、この記事に気づいて、かつて塾の講師として彼女に数学を教えていた、これまた私の教え子(今は早実の教師)からメールが届いた。「…活躍しているようで嬉しくなり、またとても懐かしく思いました。この仕事は教え子が活躍しているのを見るのが一番の楽しみです。」

教え子達が進学し、就職し、結婚し、そして親となる…彼らの人生の節目にめぐるあえることに感謝である。

### ◎予定通りに進まない…ため息のみ

毎月発行しているこの塾報。塾の予定を記載しているが、なかなか予定通りに進まないことが多い。今回も中3生の進路の調査を行う予定だったし、受験情報講座も早めに関心はあった。しかし、生徒の様子を見ていると、受験を意識し出した者はまだまだ少ない。こんな中で予定通りに進めてもうまく行くことは少ない。これも経験則である。もう少し受験を意識できたときや、意識させる方向づけが見いだせた頃に進めてみよう。